



議会だより つしま

No.21

2023

8月

令和5年



最後の夏に この仲間たちと

「上対馬高校舟グロウ大会」

つしま

- ★第2回定例会のあらまし・・・2
- ★第2回定例会一般質問 4～7
- ★所管事務調査報告・・・8～9
- ★議長会要望事項……………10
- ★委員会等の構成……………11
- ★永年勤続表彰……………12
- ★編集後記……………12

発行：対馬市議会

編集：対馬市議会広報編集特別委員会
〒817-1201

長崎県対馬市豊玉町仁位380番地
TEL 0920-58-1379 FAX 0920-58-1018
E-mail t_gikai@city-tsushima.jp



令和5年第2回対馬市議会定例会(6月定例会)の概要

令和5年第2回定例会が6月20日から7月4日(15日間)の日程で開かれ、37件の提出議案について審議されました。

一般質問は7人が登壇し、活発な議論が展開されました。

高レベル放射性廃棄物の最終処分に係る請願については、6月20日に請願審査特別委員会を設置し、同委員会に付託されました。7月4日の最終日には、同委員会より、閉会中も継続して審査する旨の申出書が提出され、第2回定例会以降も審査をすることが決定されました。

主な議案

承認(予算) 5件 (令和4年度対馬市一般会計補正予算(第12号)ほか)	→	全件 承認
承認(条例) 3件 (対馬市税条例の一部を改正する条例 ほか)	→	全件 承認
報 告 4件 (令和4年度対馬市一般会計継続費繰越計算書について ほか)		
予 算 案 2件 (令和5年度対馬市一般会計補正予算(第2号)ほか)	→	全件 可決
条例改正案 8件 (対馬市立学校教育施設条例の一部を改正する条例 ほか)	→	7件 可決・1件 否決
議 決 案 5件 (あらたに生じた土地の確認及び字の区域の変更について(貝口地区) ほか)	→	全件 可決
同 意 案 1件 (対馬市監査委員の選任について)	→	同意
決 議 案 1件 (議会広報編集特別委員会の委員の定数の変更に関する決議)	→	可決
請 願 8件 (高レベル放射性廃棄物最終処分場に係る文献調査受け入れ反対に関する請願書 特定放射性廃棄物の最終処分にかかる文献調査受け入れの促進について ほか)	→	閉会中の継続審査

※ 議案、審議結果は対馬市議会ホームページに掲載しています。

議 案



審議結果



9月定例会のお知らせ

令和5年第3回定例会は、9月中旬に開催を予定しています。
※日程は、議会運営委員会で協議された後、ケーブルテレビ、議会ホームページに掲載しますので、ご確認ください。



常任委員会審査報告

■総務文教常任委員会

委員長 上野 洋次郎

◎付託された案件(1件)

①令和5年度対馬市一般会計補正予算(第2号)

◎審査内容

○総務費、衛生費、教育費に係る補正予算が計上され、対馬市CATVの既存サービスからの円滑な移行のため、全てのサービス休止者を対象とした契約情報追跡調査委託料、美津島文化会館大会議室空調設備改修工事設計委託料及び工事請負費、美津島北部小学校体育館屋根改修工事設計委託料及び工事請負費等について審査を行いました。



■厚生常任委員会

委員長 小田 昭人

◎付託された案件(1件)

①令和5年度対馬市一般会計補正予算(第2号)

◎審査内容

○総務費、民生費、衛生費に係る補正予算が計上され、マイナンバー交付等事務に従事する月額会計年度任用職員及び税務事務に従事する月額会計年度任用職員の人員費、障害者福祉計画等業務委託料、住民税非課税世帯支援臨時特別給付金、過年度実施の給付金事業精算に伴う返還金、新型コロナウイルス感染症予防対策事業に係る予防接種委託料等について審査を行いました。



■産業建設常任委員会

委員長 春田 新一

◎付託された案件(1件)

①令和5年度対馬市一般会計補正予算(第2号)

◎審査内容

○農林水産業費、商工費、土木費に係る補正予算が計上され、漁業用燃油高騰対策事業補助金、農業用揚水ポンプ修繕に伴う負担金、林道改修工事費、漁港施設間の予算組み替え、アニメ活用情報発信事業委託料、朝鮮通信使船復元船来航事業委託料、比田勝港国際ターミナル使用料徴収委託料等について審査を行いました。



市政を問う

7名の議員が一般質問



入江 有紀 … P 4 糸瀬 雅之 … P 5 小島 徳重 … P 5
 伊原 徹 … P 6 大浦 孝司 … P 6 脇本 啓喜 … P 7
 船越 洋一 … P 7



入江 有紀議員

(入江) 3月の職員の飲酒運転に続き、また5件も不祥事が発生しており、公務員としてのモラルの欠落した職員が多いと思います。

◆ケアラー、ヤングケアラーについて

(入江) ケアラー、ヤングケアラー数の把握状況と今後の対応は。

(市長) ヤングケアラーの数は、令和3年度に2件報告があった。長崎県が策定するケアラー支援推進計画に沿って、ケアラー支援の推進を図る。

◆介護施設の整備について

(入江) 第9期介護保険事業計画の県への申請が来年の3月であるが、市の対応は。

(市長) 令和6年3月に市が県へ施設整備助成事業実施協議書を提出し、5月に県からの内示を受け6月に市が事

業者の募集をする。10月までに事業者選定委員会を開催し事業予定者を決定する。

◆市民の要望に対しての行政の怠慢さについて

(入江) 日新館武道場の電球、のぐちクリニック前のバス停、土富林道の整備、峰町の浄化槽の問題について。

(教育長) 今年4月に現地を確認し、水銀灯4灯を交換した。今後はLED化も考えている。

(市長) のぐちクリニック前のバス停については、県から道路占用許可が出たらバス停留所標識を移動する予定である。土富林道の整備については、部署間で情報が伝わっていなかったため、今後は連携を密にする。峰町の浄化槽の問題については、平成18年度から事務処理の不備等、不適切な事務処理により未収金が発生している。今回の事案は市役所全体の問題であり、一日も早く適正な事務に取り組む。



糸瀬 雅之議員

◆入札制度改革について

(糸瀬) 対馬市の入札発注基準の見直し及び業務委託、設計、物品等の入札における最低制限価格の見直しについて。
 (市長) 物価・資材高騰により、長崎県も令和5年4月より発注基準の見直しを行っており、対馬市においても来年度に向けて指名審査委員会で最低制限価格も含めて検討を進めたい。

◆対馬博物館について

(糸瀬) 対馬博物館がオープンして1年が経過したが、収支決算及び将来的な博物館の運営方法について。

(市長) 令和4年度は、3万8千人の入館者があり、約4,261万円の収入に対し、博物館費全体では約1億7,750万円の支出となってい

る。令和4年度は、国際航路の休止や新型コロナウイルスの拡大による外国人観光客の来館が皆無だったことが影響している。今後の運営方法は、当面は市の直営で行いながら持続可能な運営方法について検討していく。

◆対馬北部アクションプランについて

(糸瀬) 北部地区アクションプランの今後の振興整備計画について。

(市長) 「北の玄関口」協働プランのこれまでの取り組み内容を検証したうえで、現状に見合うよう計画内容を進化させる必要があると認識している。令和6年度中に上県町(上対馬振興部管内)と上対馬町を対象エリアとした北部対馬の交流人口の拡大、観光コンテンツの造成、地域住民が安心・安全に暮らせるまちづくりを総合的かつ計画的に取り組むプランのバージョンアップに着手したい。



小島 徳重議員

◆核ごみ最終処分場の機能について

(小島) SDGs 未来都市計画のビジョンと核ごみ最終処分場の機能の整合性は。

(市長) SDGs 未来都市計画では、環境・社会・経済の3つを調和させながら諸問題を解決していくことを目的としている。最終処分場の機能と相いれないところもある。

(小島) 最終処分場の危険性について。

(市長) 資料を読む限り、地下埋設施設、埋設までの工程について、安全ではないと読み取れる。

(小島) 市民から市長への訴えの声を聞いている所感は。

(市長) 胸に響くものがある。市民の気持ちをかみ砕

きながら、最終的な判断をするための糧にしたい。

◆オーガニック給食の実施について

(小島) 子どもたちの食の安心・安全のため、オーガニック給食を推進すべきでは。

(教育長) オーガニック給食の提供は、大変、意義のある取り組みであると認識しているが、現在のところ、実現には多くの課題がある。

(小島) 一部の給食調理場で使用されている減農薬米を全部の調理場で使用すべきでは。

(教育長) 他の調理場でも使用を促していきたい。

(小島) 減農薬農法、有機農法を広め、農作物を学校給食に使用し、農業の活性化を図ってほしい。



伊原 徹議員

◆観光全般について

(伊原) 市内観光地への写真付き案内板設置の統一化は、

(市長) 観光案内板・誘導板整備計画により、各種デザインとの統一化をしている。写真付き案内板は必要に応じて整備を進めたい。

(伊原) 観光アプリシステム整備の考えは。

(市長) スマートフォンアプリケーションを作成していたが、データ量が大きく提供を中止している。目的地までのナビゲーションシステムについては、個人保有のスマートフォンのデータに負担がないよう、ウェブ上からのマップ検索を推奨し、情報提供を行いたい。

(伊原) 観光コンサルによる観光資源の見直しは。

(市長) 有人国境離島地域社会維持推進交付金の滞在

型観光を活用し、第一次産業者と食と体験を組み合わせたコンテンツの創出を行うなど、維持可能な観光地づくりを進めたい。

◆路面整備について

(伊原) 佐須窓口センター駐車場の改修に係る連絡体制は。

(市長) 職員及び利用者等から、指摘の段差についての連絡は上がっていないが、事故等発生が懸念されるため、早急に対応したい。

◆通学路について

(伊原) 金田小学校通学路の樹木先端部剪定について。

(教育長) 通学路周辺の環境改善に向けて、関係機関と協議を進めたい。

(伊原) 通学路安全確保のための注意喚起ポール設置と路面標示について。

(教育長) 過去に県道幅員拡充と歩道延長を検討したが、共有名義で時間を要したため、用地買収に至らなかった。通学路の安全確保に向けて関係機関と協議を進めたい。



大浦 孝司議員

◆放射性廃棄物の地層処分について

(大浦) 文献調査と過去に動力炉核燃料事業団が極秘調査していた問題をどう捉えているか。

(市長) 文献調査は高レベル放射性廃棄物最終処分場の施設建設選定に向けた最初の調査であり、地質図や学術論文などの文献、データを基にした机上調査である。調査結果次第では概要調査へ進む判断となる。極秘調査の件は、新聞報道では対馬を一つの候補地として2か所を調査したのではないかと思われる。直接NUMOに問い合わせたところ、そのような資料は持ち合わせていないという回答であった。

(大浦) 文献調査の議論がある中で、対馬島民が現在

何が起ころうとしているかわからない方が多いと思われる。今議会は、最初から分かりやすく説明し、議論する定例会でなければならぬ。極秘調査の件で、30年前に動燃が調査した資料によると、対馬北部(上対馬町、上県町の町境)香の木山付近、厳原町矢立山付近で1,000メートルのボーリング調査資料があり、最終的には適地であるとされている。文献調査はいかにも初歩的な取組との請願のようであるが、概要調査に匹敵するボーリング調査は、すでに行われており、軽い気持ちの判断では済まされない。埋立処分問題はないという国の説明に相反し、学者の間では将来必ず地上に放射能が漏れ出すとの指摘がある。市長は慎重にチェックしてもらいたい。国境ラインに核関連施設が建設されれば、他国より攻撃される対象となり、危険性は高い。



脇本 啓喜議員

◆新たな活断層について

(脇本) 2017年7月28日、資源エネルギー庁作成の「科学的特性マップ」において、対馬は「火山や活断層が近くにない適地」とされている。昨年3月に政府の地震調査研究推進本部は、対馬近海にマグニチュード7以上の地震を引き起こす可能性がある5つもの活断層の存在を公表した。同マップの要件・基準に照らせば対馬は好ましくない地域となる。今でもNUMMOはこの科学的特性マップを基に対馬は適地だと説明しているが、市長の認識と見解を求める。

◆基金活用事業について

(脇本) 昨今、大きな課題として人口減少問題や経済

の低迷・疲弊が指摘され、課題解決の財源確保を憂う声がある。対馬市の一般会計には、取り崩し可能と思われる基金が50億円以上ある。これらの基金活用をさらに検討してはどうか。

(市長) 課題解決に向けた新たな事業であれば、補助事業の採択や交付税措置のある有利な起債及び基金の活用など、積極的に事業を推進していきたい。

◆上対馬病院建替えと市民協働のまちづくりへの展開について

(脇本) 現在計画の中の上対馬病院建替えは、まちづくりの展開に大きく影響を及ぼす。前項の基金を取り崩し、北部対馬の新たな市民協働でのまちづくりに取り組んではどうか。

(市長) 「北の玄関口」協働プランを検証し、プランのバージョンアップに際し、策定委員会を設置する。ワークショップを開催するなど市民と一緒に取り組みたい。



船越 洋一議員

◆漁業の振興策について

(船越) 現在、五島から釜山に活魚が輸出されており、平成30年は226トン、令和4年には1,197トン、金額で18億7千万円と急激に伸びているが、地の利を活かして対馬も取り組むべきだと思うが。

(市長) 韓国のほうに輸出がどのようなルートで運べるか早急に研究し、実施に向けて取り組む。

◆韓国観光客の受入について

(船越) 5月から2隻体制で運航されているが、コロナ前の運賃の倍近くで特に週末は高く、福岡に行くのと変わらない。厳原港国際ターミナルも完成間近であり、3隻、4隻と増やして

いくべきだと思うが。

(市長) 韓国の船会社GBKの社長も早い時期に対馬航路を始めたい意向であるが、おもてなしも含めた価値のある旅行商品を重視していきたい。

◆行政と区長制度のあり方について

(船越) 島内の区割りには181区あるが、行政と区民とのパイプ役として日々苦勞していただき、区民を代表し、地域の要望・陳情等も数多く上がっていると、思うが、区長との意思疎通は取れているのか、また、不備等はないのか。

(市長) 近年、地域マネージャー制度が若干、弱体化している感がある。引き締め策と活性化策を図っているが、要望についてもできる限り今後の補正予算に取り込み、要望等に応えられるよう取り組む。

所管事務調査報告

■総務文教常任委員会

委員長 上野 洋次郎

本委員会は令和5年5月19日、「対馬市のコミュニティ・スクールの現状と今後の取組について、対馬市の教職員住宅管理の現状と今後の方針について及び消防職員の職場環境の改善と働き方改革の推進について」所管事務調査を行いました。

まず、コミュニティ・スクールについて佐須奈小中学校を訪問し、当校の現状と今後の取組について説明を受けました。佐須奈小中学校のコミュニティ・スクールは令和2年4月に発足しております。地域と学校とが連携して取り組む活動や学びが充実してきており、地域の様々な方々の協力を得ながら活動を行うことができるようになってきたとのことでした。

今後は、地域とともにある学校づくりのため市内全ての小・中学校への導入を推進する方針のもと、令和10年度までに導入を完了する予定となっているとの説明を受けました。

次に、現在の対馬市における教職員住宅の戸数は172戸で、その中には修繕が必要なもの、入居できないものもあり、入居率は全体で48%とのことでした。また、今後の方針としては全102棟中、58棟が存続、19棟が他住宅への転用等用途変更の検討、25棟が廃止予定との説明でした。U・

Iターン者向けの住宅としての活用及び土地も含めてその地域に売却することを検討される等、有効活用に努めていただくことを望むものであります。

最後に、消防職員の職場環境の改善と働き方改革の推進については、直近の3年間において毎年6名ずつ、計18名が中途退職しており、退職者に歯止めがかかっていない状況であります。市民の生命、財産を守る消防業務に携わる職員に対して救急出動及び火災等における特殊勤務手当の増額、救急救命士手当の創設等、更なる待遇改善により魅力ある職場環境を整えることで、消防職員の定数が確保できるよう検討していただくことを望むものであります。



消防本部で説明を受ける

■厚生常任委員会

委員長 小田 昭人

本委員会は、令和5年5月22日、高齢者介護施設における入所・入居待機者の実態及び要介護認定について所管事務調査を行いました。

高齢者介護施設における入所・入居待機者の状況は、令和5年5月1日現在、18施設で定員681人に対し、入所・入居待機者は642人で、待機者は重複を除く313人となっております。委員からは、老老介護の実態や高齢者施設への入所が期待できないため、家族で島外に転出する世帯もあるのが現状であり、対馬病院と連携を図りながら在宅診療の推進を図ることが必要であるとの意見がありました。

次に、要介護認定について、介護認定調査員は豊玉庁舎の保健部長寿介護課に3人、厳原庁舎の保健部南地区保健センターに2人の計5人で市内全域の介護認定調査に従事している。調査員は1人で訪問調査を行い、調査時間は1件あたり30分程度ですが、公用車での移動時間は往復で最長2時間程度を要し、帰庁後システムへの調査内容の入力時間が1件あたり2時間ほどかかるとの説明がありました。

なお、市内における年間の介護認定調査件数は約2,000件で、調査に遅延が発生することがないように対応しているとい

所管事務調査報告

うことです。雇用形態は、月額会計年度任用職員で、通勤手当、時間外勤務手当は職員と同様に支給されています。

委員からは、市内全域を訪問し、調査を行うには移動に時間を要することから、今後、上県庁舎の北地区保健センターにも介護認定調査員を配置してみてはどうかとの意見がありました。

産業建設常任委員会

委員長 春田 新一

本委員会は、令和5年5月23日に公益財団法人対馬栽培漁業振興公社の事業内容と施設の現状及び、あそうベイパークの今後の整備計画について所管事務調査を行いました。

対馬栽培漁業振興公社の現状について、磯焼けによる海藻類の激減で放流活動の自粛が痛手となっている。収益事業により一定の収益を確保する取組を継続し、その収益で補いながら基幹である公益事業の復活・拡大に向けた取組を強化する必要があるとの説明を受けました。

放流用種苗について、民間への販売はできないのかとの委員の質疑に対しては、公益事業であり目的が違うため、また、民業圧迫になるため販売はできない。大きくなり過ぎたものについては、ふるさと納税の返礼品として活用することの許可をいた

いているとの回答でした。

あそうベイパークの現地視察では、委員から多目的広場の整備について、憩いの広場に遊具類の設置を検討してほしい。案内板については施設案内等、来場者をスムーズに誘導できるように、整備をはじめ浅茅湾の魅力を楽しむことができるサップやシーカヤック等のアクティビティにも力を入れていただきたい等、多くの意見がありました。

整備のスケジュールについては、デジタル田園都市国家構想交付金を活用し、令和5年度に新築管理棟の設計業務、令和6年度に新築管理棟工事、キャンプ施設改修工事、施設内サイン工事を実施し、令和7年度からは、リニューアルしたあそうベイパークの情報発信及びプロモーションを強化し、観光誘客を推進する予定です。また、一般財源により多目的広場乗馬体験に必要な整備及び新築管理棟の完成に伴い、既存のキャンプ場の監視棟など解体工事も実施予定です。

委員から多目的広場の利活用で一部を対州馬の乗馬体験用に改修する計画については、憩いの広場との間に柵などを設置し、利用者の安全を確保すること。有害鳥獣対策。玄海つっじの森では遊歩道が整備されていることから、あそうベイパークの魅力を高めるため有効に活用することの検討などの意見がありました。



あそうベイパークで説明を受ける



対馬栽培漁業振興公社で説明を受ける

長崎県市議会議長会定期総会

令和5年5月18日、平戸市で令和5年度長崎県市議会議長会定期総会が開催されました。

対馬市議会は、道路整備に係る財政支援、離島と本土を結ぶ高速船の新船建造に対する支援制度の創設等についての議案(要望)を提出し、要望していきます。

提出議案

- 1 道路の整備について
- 2 離島航路における海上高速交通体系の維持について
(五島市・壱岐市・対馬市共同提出)



九州市議会議長会定期総会

令和5年6月8日に長崎市で開催された第98回九州市議会議長会において、長崎県内13市の共同提出議案として3議案が提出され、そのうち「離島振興について」を初村議長が説明しました。

13市共同提出議案

- 1 都市財政の充実強化について
- 2 西九州地域の交通網の整備促進について
- 3 離島振興について



副議長交代



副議長 春田 新一

令和5年第2回定例会最終日(R5.7.4)に黒田昭雄前副議長から辞職願が提出され、同日、副議長選挙が行われました。選挙の結果、春田新一議員が副議長に当選されました。

委員会等の構成が変わりました

総務文教常任委員会	委員長	副委員長	委員		
	陶山 莊太郎	小宮 教義	神宮 保夫	波田 政和	上野 洋次郎
			春田 新一	—	—

【所管事項】 総務部 しまづくり推進部 教育委員会 消防本部 会計課 監査委員 選挙管理委員会
固定資産評価委員会 他の所管に属しない事項

厚生常任委員会	委員長	副委員長	委員		
	島居 真吾	入江 有紀	伊原 徹	黒田 昭雄	大浦 孝司
			作元 義文	—	—

【所管事項】 市民生活部 福祉部 保健部

産業建設常任委員会	委員長	副委員長	委員		
	坂本 充弘	糸瀬 雅之	船越 洋一	脇本 啓喜	小島 徳重
			小田 昭人	—	—

【所管事項】 観光交流商工部 農林水産部 建設部 水道局 農業委員会

議会運営委員会	委員長	副委員長	委員		
	上野 洋次郎	船越 洋一	陶山 莊太郎	島居 真吾	坂本 充弘
			波田 政和	小宮 教義	—

議会広報編集特別委員会	委員長	副委員長	委員		
	陶山 莊太郎	入江 有紀	神宮 保夫	島居 真吾	小島 徳重
			小田 昭人	—	—

対馬市監査委員

神宮 保夫

全国市議会議長会永年勤続議員表彰

全国市議会議長会第99回定期総会において、本市議会から3名の議員が表彰され、6月20日の定例会本会議終了後に表彰伝達式が行われました。



議員15年以上
小宮 教義 議員

議員20年以上
初村 久藏 議長

議員15年以上
波田 政和 議員



議会広報編集特別委員会

【委員長】 陶山 莊太郎

【副委員長】 入江 有紀

【委員】

神宮 保夫 島居 真吾

小島 徳重 小田 昭人

編集後記

残暑お見舞い申し上げます。
6月から7月にかけて行われた定例会で各委員会が改選され、私が議会広報編集特別委員長に選任されました。
また、今回から行政調査に伺った雲仙市議会だよりの優れた点を見習い、2点の改善を行いました。
まずは、一般質問記事の要点をまとめて文字数を減らし、市民の皆様から読んでもらいやすくいたしました。
次に、これまでの5名の委員数を3つの常任委員会から2名ずつの計6名とし、ケーブルテレビではご覧にならない委員会での活動内容を分かりやすく伝えられるようにいたします。
これからも、市民の皆様にご覧いただけるだけの議会だよりの作成に努めてまいりますので、よろしくお願いたします。
(文責・陶山 莊太郎)